

日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2020の概要

令和2年12月9日
中央労使協働委員会
労使協働小委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

1 調査方法

(1) 調査対象

職員5,153人(派遣職員等を除く)を対象に実施しました。
なお、有効回答者数は3,287人、回答率63.79%でした。

(2) 調査期間

令和2(2020)年10月5日～10月21日

(3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる6つのテーマに分類し、集計しました。

- | | |
|--------------------------|--------|
| ① 安全・安心に関すること | (設問6問) |
| ② 時間に関すること | (設問5問) |
| ③ 男女共同に関すること | (設問4問) |
| ④ 職場の「支えあい」を実現するために | (設問5問) |
| ⑤ 意欲を持って働くために | (設問6問) |
| ⑥ ワーク・ライフ・マネジメントを実現するために | (設問2問) |

計28問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

(4) 算出方法

設問は5点満点で、全体の最高は100点となるようになっています。

2 調査結果の概要

(1) 全体の特徴

① 全体の満足度

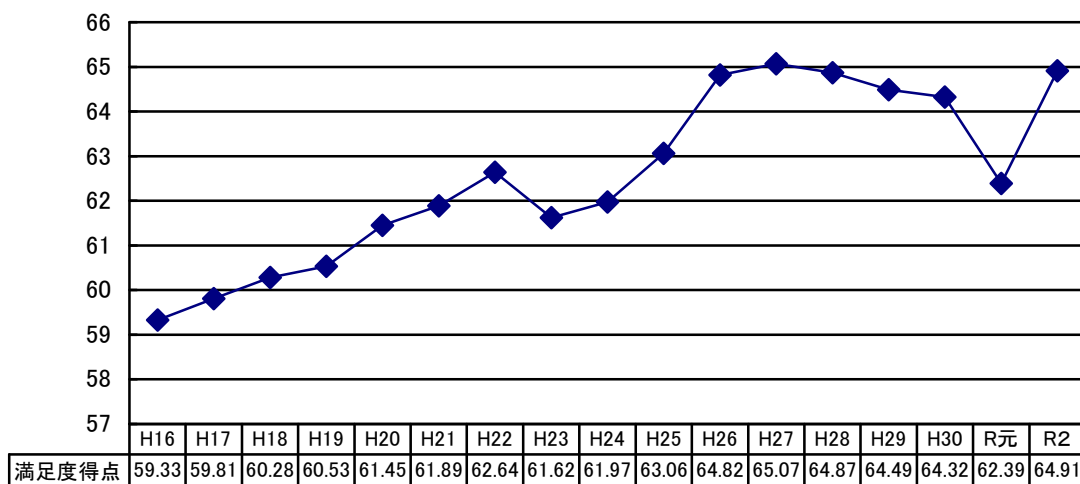
全体の満足度は64.91点となり、当該年度を含む直近7年間で2番目に高い満足度となりました。

(参考) 職員アンケートの全体満足度得点推移

H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)
59.33	59.81	60.28	60.53	61.45	61.89
H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)
62.64	61.62	61.97	63.06	64.82 ④	65.07 ①
H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	
64.87 ③	64.49 ⑤	64.32 ⑥	62.39 ⑦	64.91 ②	

※ H23までのアンケートは設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

※ ①～⑦は順位を表しています。



(2) 設問別の満足度

設問別の満足度の得点については、次のとおりです。

① 得点上位・下位5設問

順位	設問内容		得点 (昨年度比)
1	問8	通勤時間	3.89点 (+0.14点)
2	問12	子育て介護への理解	3.83点 (+0.19点)
3	問4	仕事上の相談相手	3.76点 (+0.12点)
4	問15	性別にかかわらず能力の発揮	3.75点 (+0.15点)
5	問5	ハラスメント	3.69点 (+0.12点)
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
24	問17	連続休暇の取得	2.83点 (▲0.11点)
25	問11	業務の見直し	2.82点 (+0.11点)
26	問28	充実した働き方、生き方	2.80点 (+0.09点)
27	問1	職場環境	2.75点 (+0.24点)
28	問26	昇任のしくみ	2.60点 (+0.21点)

② ワーク・ライフ・マネジメントに関する設問 (参考)

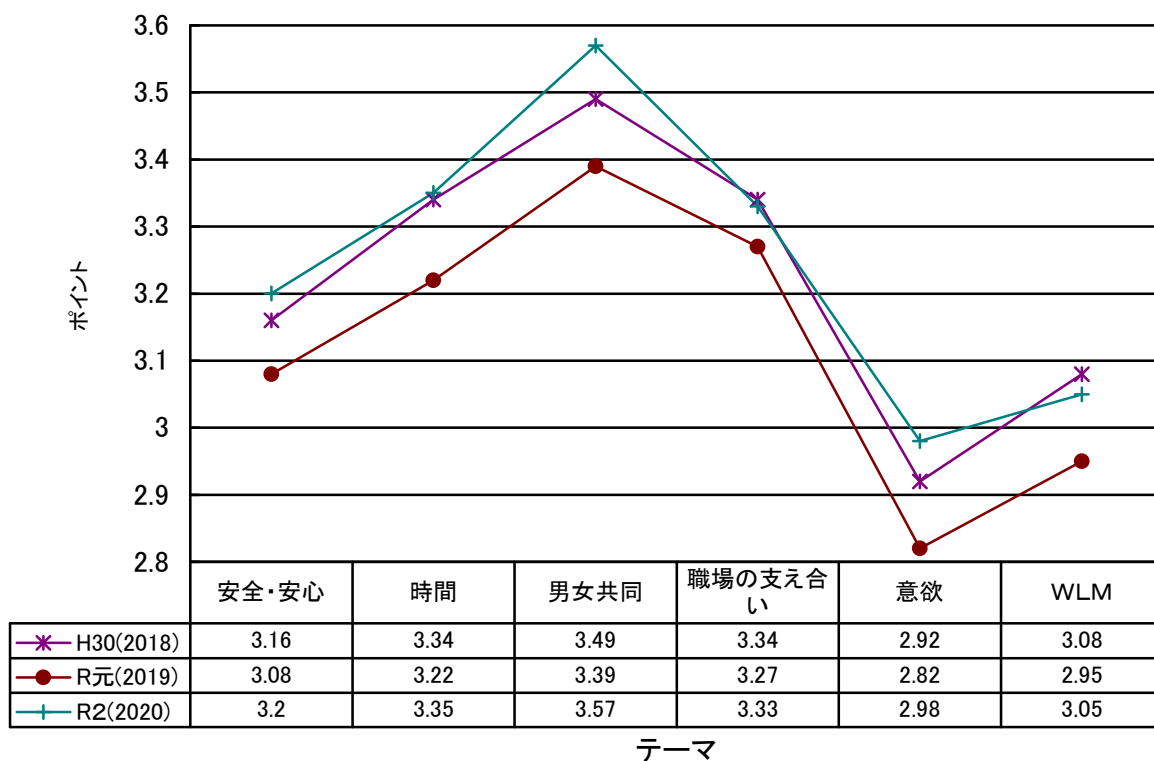
順位	設問内容		得点 (昨年度比)
13	問27	充実させていこうとする雰囲気	3.29点 (+0.10点)
25	問28	充実した働き方、生き方	2.80点 (+0.09点)

(再掲)

(3) カテゴリー別

設問全28項目を要約するために、6つのカテゴリー毎に集計したところ、いずれの年度も「意欲」が最も低いカテゴリーとなっています。

令和2年度は、「男女共同」のカテゴリーにおいて直近7年間で最も高い結果となりました。



(4) 項目別の満足度の特徴

① 所属

地域庁舎の事務所 (66.75 点)、他の地域機関 (65.97 点)、県立学校 (63.65 点) 本庁 (63.41 点) の順となりました。

昨年度と比較して、地域庁舎の事務所、他の地域機関、県立学校、本庁のいずれも昨年度の点数を上回っています。

② 部局・地域庁舎

部局別満足度では、出納局 (77.42 点)、病院事業庁 (75.17 点)、企業庁 (72.27 点) が高い結果でした。一方で、医療保健部 (59.86 点)、戦略企画部 (60.61 点)、防災対策部 (60.90 点) が低い結果となりました。

昨年度と比較して、医療保健部、環境生活部、議会事務局は昨年度の点数を下回りましたが、それ以外の部局では全て昨年度の点数を上回っています。

地域庁舎の地域別満足度では、尾鷲庁舎 (70.77 点) が最も高く、桑名庁舎 (61.09 点) が最も低い結果となりました。

③ 役職

課長級以上（補佐級管理職を含む）（74.80点）、課長補佐級（本庁の班長、地域の課長）（66.01点）、一般（65.75点）、主任級（62.30点）、主査級（62.00点）、課長補佐級（本庁の班長、地域の課長以外の職）（60.48点）の順となりました。

課長補佐級の班長とそれ以外の職とは5.53点の差となっています。

（5）日本一、働きやすい県庁の推進に向けての自由意見

全体で延べ830件の意見がありました。

- ① 最も多かったのは、仕事配分、業務量に関するもので、114件（13.7%）あり、業務量に応じた人員配置、業務量等の対策・実施を求める内容でした。
- ② 次に多かった意見は、職場環境に関する意見で88件（10.6%）あり、空調及び適切な勤務スペースの改善等の対策・実施を求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、アンケートに関するものが51件（6.1%）、管理職のマネージメントに関するもので46件（5.5%）勤務時間削減の取組（業務改善）に関するもの43件（5.2%）、となりました。

なお、在宅勤務制度に関する意見も31件あり、制度の拡充を望むものや、制度があってもとれない等様々な意見がありました。今後、「新しい生活様式」を意識した働き方への移行が進むなかで、各部局・職場においても労使協働で在宅勤務のできる業務・できない業務について具体的な検証を進めていただくよう呼びかけ、在宅勤務制度が日本一、働きやすい県庁（しょくば）に繋がるように取り組んでいきます。

3 今後の取組

アンケート結果（数値、自由記載意見等）を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において課題について検討するとともに、専門家等の意見も参考としながら今年度の日本一、働きやすい県庁（しょくば）の取組に活用してもらいます。